

# 市議会だより

第97号  
平成28年6月  
定例会

発行日／平成28年7月20日 発行／岩手県陸前高田市議会 編集／議会広聴広報特別委員会



一般質問……………2～10ページ

議案の審議・結果……………10～11

請願審査・発議……………12～13

議会報告会……………14～15

復興のうごき・議会のうごき……………16



サッカーJ1・川崎フロンターレの選手と交流ゲームを楽しむ子どもたち（高田スマイルフェス2016）

## 6月定例会

### 復興や産業振興で論戦

梅雨時期と重なった6月定例会。時折、強い雨が屋根をたたく音が議場に響く中で行われました。

一般質問には11議員が登壇。復興関連事業や基盤整備、産業振興、人口減少対策などに関して当局と論戦を交わしました。

議案は、まちなか広場を整備する被災市街地復興整備事業の変更契約、震災で全壊した広田公民館建設工事の契約、市立図書館整備に向けた実施協定締結、脇之沢漁港災害復旧工事のほか、平成28年度一般会計補正予算など全24議案を慎重に審議し、いずれも原案の通り可決しました。

また、請願の「若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求めることについて」と「無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書の議会決議について」を採択し、「区画整理事業の換地処分における参加条件の緩和について」と「防災集団移転促進事業における高台の早期完成について」を不採択としました。



# 復興関連事業や基盤整備、産業振興、人口減少対策などの課題で論戦

6月14日から16日までの3日間にわたり11人が登壇

登壇順

|                 |  |
|-----------------|--|
| 菅原 悟<br>(新志会)   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域と市民に寄り添うまちづくりについて</li> <li>2 介護離職と老老介護施策について</li> <li>3 脱ゆとり教育における今後の教育施策について</li> </ol>                                      |
| 鵜浦昌也<br>(創生会)   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 今後の道路整備と歩道の改修について</li> <li>2 ごみ減量化と小型家電リサイクル回収の取り組みについて</li> <li>3 高田町の新たなまちづくりにおける本丸公園の役割について</li> </ol>                       |
| 中野貴徳            | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 定住人口増加に向けた住宅の確保と市営住宅の払い下げについて</li> <li>2 防災行政無線の難聴について</li> <li>3 臨時災害FM放送事業について</li> </ol>                                     |
| 及川修一<br>(新風)    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 水産業振興について</li> <li>2 小友浦周辺の整備状況</li> <li>3 仮設店舗撤去とその利用について</li> </ol>   |
| 伊勢純<br>(日本共産党)  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本市の被災者住宅再建への支援について</li> <li>2 仮設住宅及び災害公営住宅の健康対策について</li> <li>3 市内事業所への営業支援や連携について</li> </ol>                                    |
| 菅野定<br>(新風)     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 住民をより安全に守るための防災対策について</li> <li>2 川上から川下までの林業振興について</li> <li>3 気仙大工の伝統継承について</li> </ol>  |
| 大坪涼子<br>(日本共産党) | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 熊本地震被害と被災自治体支援について</li> <li>2 県立高田病院や(仮称)市民文化会館等の公共施設の整備について</li> <li>3 今後の地域活動、地域づくりについて</li> </ol>                            |
| 大坂俊<br>(翔英会)    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 陸前高田市の人口減少社会の現状と策定された「まち・ひと・しごと総合戦略」について</li> <li>2 復興計画の中で一番の遅れが生じていると思われる今泉地区区画整理事業について</li> <li>3 大肝入屋敷復元促進事業について</li> </ol> |
| 藤倉泰治<br>(日本共産党) | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 参議院選挙の意義と被災地との関わりについて</li> <li>2 地元雇用、農林漁業の担い手対策について</li> <li>3 市立図書館の管理運営・職員体制について</li> </ol>                                  |
| 三井俊介<br>(新風)    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 まちづくりを担う多様な主体との協働について</li> <li>2 魅力ある空き家バンクの創設に向けて</li> <li>3 地域おこし協力隊について</li> </ol>   |
| 佐々木一義<br>(創生会)  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 今後の交通体系の取り組みについて</li> <li>2 土地区画整理事業区について</li> <li>3 広域連携について</li> </ol>  |



菅原 悟  
(新志会)

## 地域と市民に寄り添う まちづくりを

**質問** 地区支援チームを編成し地域の課題・要望に対応すべきと思うがどうか。

**答弁** 被災者の住宅移転が進むなか、新たな課題やニーズ等が生じているため、地域の状況を的確に把握し対応しなければと認識しており、職



訪れた市民に対応している市役所窓口

員一人ひとりが連絡、調整役となるとともにコミュニケーション推進連絡会議の再構築を進め対話の機会を増やしていく。

**質問** 来庁者への窓口対応に係る指導と方針は。

**答弁** 先般、全職員を対象に接遇・心構え研修を実施した。また、窓口職員には民間事業者によるビジネスマナー研修に参加させるなど、市職員として、自覚を持つて職務するよう指導を行っている。

今後、市民と同じ目線で、市民が何を考え、望んでいるのか、考えながら対応する職員の育成に努めていく。

## 介護離職と老老介護 施策はどうか

**質問** 本市の介護離職の把握と相談体制はどうか。

**答弁** 離職者の全容は不明であるが、在宅介護を支える支援は欠かせない。その支援として、ケアマネージャーを通じて相談支援を行っ

ていく。

**質問** 地域包括支援センターの利用促進施策はどうか。

**答弁** 介護相談件数は増加しており、ニーズにどのように対応するか課題である。専門職の研修の充実に努めるほか、サテライト相談窓口の拡充を図り、利用促進に努める。

## 脱ゆとり教育における 教育施策は

**質問** ゆとり時代と比較した本市の児童生徒の学力状況をどのように捉えているか。

**答弁** 学力調査等からみると、小中学校ともに概ね全国平均と同等と捉えているが、表現力に関する内容に、やや課題があることから、現在、改善に向けて取り組んでいる。

**質問** 震災後、休止となつてい学校公開研究会を早期に再開すべきと思うが。

**答弁** 学校公開研究会は、学力向上に関する指導法等を公開し、教員の授業力向上と児童生徒の学力向上を目指すものであり、震災の影響により休止をしていたが、教育環境が整ってきたことから、今年度中には再開したい。

## 学校誘致や復興状況などを調査

### ―復興対策特別委員会―

復興対策特別委員会（及川修一委員長）では、6月17日と20日の両日、復興の進捗よく状況等の調査を行いました。17日は、本市で交流人口拡大に向けて、空き校舎を利用し、専門学校及び大学等の高等教育機関を誘致しようとしていることから、議場において、空き校舎の利用について、市長・教育長以下担当課長の出席を得て調査しました。



今泉地区高台

現状や見通しについて質疑が行われました。

20日は、新築された高田保育所や今泉地区高台、中心市街地盛り土工事現場に出向き、視察を行いました。

高田保育所では、民生部長子ども子育て課長、同保育所長から、保育所建設までの経緯や課題などを新築された建物を案内されながら説明を受けました。

今泉地区高台と中心市街地盛り土工事現場では、復興局長から、今泉・高田両地区の復興状況について説明を受けました。



高田保育所



鵜浦昌也  
(創生会)

## 最終処分場の利用 年限を延ばすには

**質問** ごみの一般廃棄物最終処分場は、今後何年利用できるのか。

**答弁** 処分場では、岩手沿岸南部クリーンセンターからの飛灰と市内で発生する非金属の不燃物を埋め立て処理している。今後20年程度は利用できるの見込んでいます。



国道45号高田バイパス周辺は2～3mかさ上げして整備へ

**質問** ごみ減量化に努め、可能な限り利用年限を延ばす努力が必要では。

**答弁** 今後も一般家庭のごみ分別や再資源化を図ることにより、最終処分場の利用を延ばせると考えている。

市民から一層のごみ減量化に向けた協力を得ながら取り組んでいきたい。

## 復興道路の整備を どう進めていくか

**質問** 復興道路整備の進捗よく状況はどうか。

**答弁** 現在、津波に対する安全性と市街地の利便性を高めるため、主要幹線道路や補助幹線道路を格子状に配置する道路ネットワーク整備を進めている。

これまで、高田町のかさ上げ部から農免道に至る路線など、それぞれ計画検討の進捗よく状況に応じて地権者に説明してきた。今後も、より具体的な計画ルートが示せる段階となった時点で説明会を行い、用地買収や支障物件の補償など、地

権者と交渉を進めていきたい。

**質問** 国道45号高田バイパス周辺は地盤が沈下しており、かさ上げした上での道路整備が必要ではないか。

**答弁** 周辺は、国道を横断する配水管の整備が計画されており、高さは2層から3層かさ上げされる予定になっている。

## 新たなまちづくり 本丸公園の役割は

**質問** 高田町の新たなまちづくりには本丸公園の役割をどのように考えているか。

**答弁** 賑わいのある中心市街地を形成していく上でも大切な役割を担っており、高田町の象徴的な場所と考えている。

**質問** 災害時の避難場所とするためにも、周辺の道路整備が必要では。

**答弁** 中心市街地から最も近い高台であり、防災上も重要な役割を果たすものと思っ

ている。  
公園への通路等の整備について、今後も検討していきたい。



中野貴徳

## 定住人口増加の 一手として

**質問** 定住人口増加に向けた住宅の確保について市の考えはどうか。

**答弁** 移住相談者を対象とした窓口の設置や金融機関との連携による融資支援、空



公営住宅の内外装

き家を利用した「お試し居住」を実施しながら、先輩移住者による高田の生活相談など、受け入れからその後の支援まで移住定住の促進に取り組む。

**質問** 市営住宅の払い下げをしてはどうか。

**答弁** 市営住宅への入居希望の需要が多いことから、払い下げは行わず適切な維持管理を行っていく。

## 防災行政情報の 伝達手段について

**質問** 防音性能の優れた住宅の防災行政無線の難聴についてどのような対応があるか。

**答弁** 防災行政無線で放送した内容を携帯電話のメールで受信できる仕組みや電話で確認できる「電話応答サービス」により対応している。必要に応じてさらに「戸別受信機」の貸し出しを検討していく。  
また、屋外放送

設備は市内に140カ所設置しており、本年は防災集団移転促進事業等で整備した住宅地について、10カ所の設置を計画している。

## 陸前高田災害FMの今後について

**質問** 臨時災害FM放送事業はいつまで続けるのか。

**答弁** 国から被災者支援情報提供事業として運営支援の継続が図られていることから、可能であれば復興計画期間が終わるまで継続したいが、国の支援がなければ延長は難しいと考えている。

**質問** 1000万円近い予算をあてる臨時災害FM放送の必要性と今後の対応はどうか。

**答弁** 当初は災害情報や被災者支援情報、生活関連情報等に密着した情報や市議会の中に継など市民の重要な情報源になっている。今後、現在の運営主体であるエイド・タカタではコミュニケーションに移したいとの意向も伺っているが、放送を維持するための経費や運営費用のことなど、どのような運営形態が最適切か判断していく。



及川 修一 (新風)

## エゾイシカゲ貝 生産の取組みは

**質問** 本市が養殖発祥の地であるエゾイシカゲ貝は、安定出荷が大切であり、加えて、陸前高田産らしいネーミングや商標登録が必要と思うが取組み状況はどうか。

**答弁** 震災後のエゾイシカゲ貝養殖漁業者は、6人から

## 小友浦の再生と 周辺整備は

13人に増え、水揚げ量も67トンを予定していて、安定した出荷が見込まれている。ブランド化の取組みは、商標登録を「地域団体商標」制度を活用して申請する。名称についても検討している。

**質問** 小友浦干潟再生のため、調査を行ったと聞く。結果と再生の可能性はどうか。

**答弁** アサリやプランクトンの底生生物、アマモなどの生物の自然再生の可能性はあるが、大きな川もないことから、干潟の人工的な造成が必要との調査結果である。

## 仮設店舗の 今後はどうか

開催や憩いの広場を計画している。

**質問** 震災後、矢の浦地区の皆様には大変な不便をおかけしてきた。地区住民が安心して使える、大陽小友浦線の改良を求めたいがどうか。

**答弁** 別ルートの建設はできないが、出来るだけ安全安心に通行できるように、舗装の補修や法面の復旧に努める。

**質問** 矢の浦や塩谷地区住民のため、三日市側に通じる道路を建設すべきではないか。

**答弁** 干拓跡地の利用計画に合わせて検討していく。

**質問** 仮設店舗の使用期限延長が発表されたが、それに伴って地権者の意向はどうか。

**答弁** 地権者が仮設の撤去意向であると事業者の移転の必要が生じるが、そのような事案は発生していない。

**質問** 使用されなくなった仮設店舗を農林水産業従事者に払い下げられないか。

**答弁** 仮設施設の譲渡などは一定の制限があるが、本市の経済及び産業復興の観点から検討が必要である。



整備が待たれる小友浦干拓跡地

**質問** 小友浦干拓跡地は、干潟再生以外の計画がないようだが、どの様な考えか。

**答弁** 住民懇談会の意見などを踏まえ、海側は干潟再生による潮干狩り場の復活、後背地側は各種イベント

## 政務活動費の支出状況

陸前高田市議会の議員は、一人につき月額7500円の政務活動費の交付を受けることができます。

会派に所属する議員の分は会派に、会派に所属しない議員は議員に交付されます。

政務活動費は市政に関する調査研究に資するため必要な経費として使用されるもので、使途基準が定められており、その基準に従って使用しなければなりません。

平成27年度政務活動費執行状況 (平成27年4月～平成28年3月分)

| 会派等      | 4月～9月 |          | 10月～3月 |          |
|----------|-------|----------|--------|----------|
|          | 人数    | 執行額      | 人数     | 執行額      |
| 日本共産党    | 3人    | 35,854円  | 3人     | 135,000円 |
| 新志会      | 5人    | 225,000円 | 3人     | 104,384円 |
| 未来プロジェクト | 2人    | 90,000円  | -      | -        |
| 福幸の会     | 2人    | 90,000円  | -      | -        |
| 魁        | 2人    | 90,000円  | -      | -        |
| 新政会      | 3人    | 135,000円 | 2人     | 15,615円  |
| 翔英会      | -     | -        | 3人     | 134,993円 |
| 新風会      | -     | -        | 3人     | 135,000円 |
| 創生会      | -     | -        | 3人     | 135,000円 |
| 中野貴徳議員   | -     | -        | 1人     | 38,230円  |
| 合計       |       | 665,854円 |        | 698,222円 |



伊 勢 純  
(日本共産党)

## 仮設店舗の払い下げは

**質問** 本市で今年度から始まる市内の仮設施設・店舗の払い下げの進め方はどうか。

**答弁** 無償で払い下げる方向で検討を行っている。また、支援事業を活用して撤去や移設が可能となるよう、土地所有者と入居事業者の意向確認をし、施設ごとに対応を進める。



両替地区集団移転団地 (小友町)

**質問** 仮設施設・店舗で営業する事業者の中には、使用期間延長が該当するのとかどうか心配する声が上がっている。市の対応はどうか。

**答弁** 土地の所有者が引き続き土地を貸していただけの場合には、使用期間の延長を予定している。

## 住宅再建支援で希望を

**質問** 高田・今泉地区では、これから1835軒の住宅再建が見込まれる。さらなる市の対応が必要と思うがどうか。

**答弁** 再建先が未定などの方々の把握と合わせ、一時的な災害公営住宅の活用などの支援策を積極的に働きかける。

また、生活相談支援員による個別訪問などにも努める。

**質問** 全国の災害再建支援を情報提供することは、被災者支援のバトンを未来に手渡す大切な意味を持つと思うがどうか。

**答弁** 住宅再建への助成制度は、経済

的負担を軽減するなど、大きな意義がある。

本市ができることとして、今後も取組みや復興の歩みをお伝えしていきたい。

## 被災者の健康対策を

**質問** 大船渡保健所長を中心に行った仮設住宅での健康調査から、仮設住宅の集約段階には、空き部屋の活用が提言されているがどうか。

**答弁** 今後、検討を進める。

**質問** 被災者の命と健康を守る被災者医療費免除制度のほかに、昨年、被災した市民らが市に提出した制度継続の署名について、市の取組みはどうか。

**答弁** 昨年行なわれた署名と合わせ、9月定例会で継続を求める請願が採択された。これを受け、地域の実情に合わせ、市では県に継続実施を要望した。

**質問** 災害公営住宅の自治会活動支援などに、被災者支援総合交付金を活用し、人員配置が必要と思うがどうか。

**答弁** 被災者支援総合交付金の活用を進めながら、社会福祉協議会やNPO団体と協働で取り組んでいきたい。



菅 野 定  
(新風)

## 住民をより安全に 守るために

**質問** 住民を守る避難訓練には、ハザードマップの周知と避難マニュアルをどう活用するののか。

**答弁** 避難訓練は事前に土砂災害・洪水ハザードマップにより、危険箇所の確認と避難経路を周知し、避難マニュアルを参考にして、どの状況で避難すべきかを判断して行う。

**質問** 住民が迷わず避難するために、どうするののか。

**答弁** 津波、土砂災害、地震など、災害種別ごとに指定の避難場所・避難所に表示看板や避難路看板を設置して、速やかに避難できるように整備していきたい。

**質問** 夜間の避難訓練の実施は大切ではないのか。

**答弁** 夜間の訓練には安全性確保の課題が多いので慎重に検討したい。

**質問** 公民館などの避難所に「かまど」や簡易トイレ等の整備が必要ではないか。

**答弁** 指定避難所には、一定期間の避難生活が送れるように食糧や水、簡易トイレなど順次、備蓄品を整備する。

## 川上から川下まで 循環型の木材産業を

**質問** 林業振興のため公共施設の木造化と補助金制度の周知をどう図るののか。

**答弁** 地元の木材は可能な



のぼり旗などを準備した避難所 (横田2区)

限りの利活用を図り、公共施設の木造化を検討していく。さらに、住宅再建者にはホームページや広報により、地域材利用の補助金制度の周知と啓発を行っていく。

**質問** チップやペレットストーブの普及とバイオオマスの熱源活用をどう図るか。

**答弁** ペレットストーブ等の利用には、上限10万円の補助を設け、継続的な利用促進を図っている。木質バイオオマスの熱源利用についても、導入に係る検討を引き続き行っていきたい。

## 職業訓練生に新たな取組みを

**質問** 職業訓練生に良い環境下で学ばせる、新たな制度による育成が必要ではないか。

**答弁** 現在、職業訓練協会に事業費の一部を補助しているが、今後、匠賞を復活させ、中高生や若い方々が技能を継承するように育成したい。さらに、派遣元事業主には技能者養成支援奨励金として、訓練生一人当たり10万円助成の再開を検討したい。



大坪 涼子  
(日本共産党)

## 再建支援金を500万円に

**質問** 熊本地震の被災の状況はどうか。

**答弁** 職員3名を宇土市と益城町に7日間派遣し、地震に対する備えは十分でなかったこと、二度の本震による復旧作業の困難さや、被災者の屋外避難生活等の現地報告を



熊本に届けられた本市の支援物資

受けている。

**質問** 本市の支援はどうか。

**答弁** 庁舎崩壊の宇土市から要望があり、本市の経験や知識、被災直後の業務をまとめ5月13日に送付した。

**質問** 被災者生活再建支援法を改正し、支援金の増額や対象家屋の拡大など、国への働きかけはどうか。

**答弁** 今後の大災害のためにも国の動向を注視したい。

## 利用しやすい公共施設を

**質問** 県立高田病院の設計内容はどうか。

**答弁** 建築概要はRC造、2階建て、1階は主に外来患者用、2階は入院患者用となっている。

**質問** 市民文化会館建設の進ちよく状況はどうか。

**答弁** 従来の市民会館と中央公民館機能を複合した施設として新市街地の東側に予定し、現在、盛り土工事中である。平成31年度開館に向け基本構想策定と基

本設計を年度内に完了したい。

**質問** 他自治体の建物では、市民の意見や要望が反映されず、構造や配置が複雑で利用しにくい事例もある。本市ではどうか。

**答弁** 市民ワークショップの開催等、多くの方々の意見を伺いながら計画の策定に取り組んでいる。

## 新しい集落形成への指導を

**質問** 被災公民館等への支援状況はどうか。

**答弁** 被災施設は42箇所であり、平成24年度に自治会館整備のため補助金交付要綱を制定し、再建、被災を免れた施設の防災や避難対応のための修繕等の費用へ支援してきた。

**質問** 新しい集落への参加や受け入れ側の対応等、不安や苦勞が出ている。行政も一緒に考えているのか。

**答弁** 自治会は自主的な住民組織であることから、地域の方々による話し合いが基本と考えている。

## 議長交際費を公表します

平成27年度分の議長交際費の支出状況をお知らせします。

議長交際費とは、議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

平成27年度議長交際費の支出状況 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

| 支出区分 | 件数  | 金額       | 主な内容                           |
|------|-----|----------|--------------------------------|
| お祝い  | 4件  | 12,000円  | 金婚祝賀会ほか各種祭典等へのお祝い              |
| 会費   | 9件  | 92,500円  | 在京高田人会ほか各種祝賀会、懇談会等の会費          |
| 弔慰   | 3件  | 95,000円  | 佐藤勝彦元議員、小松眞元議長、清水幸男議員の逝去に際し香典等 |
| その他  | 10件 | 22,464円  | 行政視察の際の土産                      |
| 合計   | 26件 | 221,964円 |                                |



大坂 俊  
(翔英会)

### 陸奥高田市の人口減少社会と「まち・ひと・しごと創生戦略」は

質問 震災後5年を経過した本市の人口動向はどうか。

答弁 震災前の平成23年2月末時点では、24,246人であったが、今年の5月末現在、19,979人となっている。

質問 本市の人口減少社会の課題をどのように考えるか。

答弁 総人口が大きく減少し高齢化率が高まっており、一日も早い復興事業の進展と少子高齢化への対策が喫緊の課題と認識している。

質問 人口ビジョンの展望において、中期と長期に分けて展望する必要があると思うがどうか。

答弁 中期については、30年後の平成52年時点、長期については50年後の平成72年までの推計を行っているところである。

質問 総合戦略においての外部評価組織の構成および検証の視点はどこか。

答弁 組織は、市民、産業界、教育、金融、労働団体、報道機関など、16名で構成している。

評価の視点は、数値目標や客観的指数の達成度を通じ、事業内容を客観的に見ていただくこととしている。

### 今泉区画整理事業の遅延について

質問 今泉区画整理事業のスケジュールの遅延についての状況はどうか。

答弁 復興計画においては、平成28年度としていたが、平成25年8月の説明会において、工事期間を平成30年度までとしている。

質問 説明会で示される遅延の原因をどう考えるか。

答弁 地権者の意見・要望等を反映させるため、見直しに時間を要したのが主な要因で、住民の方々の生活道路の確保

など、調整事項や制約が多いことも一因と考えている。

### 大肝入屋敷復元促進事業について

質問 事業推進のための予算についての用途はどうか。

答弁 岩手県の文化財保護事業補助金および一般財源に加え、ふるさと納税等による寄附金を見込んでいます。

質問 岩手県文化財指定の継続の見通しはどうか。

答弁 建築の専門家を中心に設置した委員会と県教育委員会の指導をいただきながら、指定継続を目指したい。



震災前の大肝入屋敷全景



藤倉 泰治  
(日本共産党)

### 今回の参院選挙の意義は

質問 今回の参院選挙の被災地としての意義はどうか。

答弁 今後の復興を見据えた上でも重要である。消費税増税の延期によって国全体の歳入が減少し、今後の復興や社会保障への影響が懸念され、被災地として注目している。

質問 これまで消費税は5%、8%となってきたが社会保障には回ってこなかった。財源としては消費税以外にもアベノミクスで恩恵を受けた大企業や資産家等からの応分の負担についても国は考えるべきではないか。

答弁 消費税増税を延期しても先行きは何も変わらない。国にも新たなチャレ

ンジを望む。

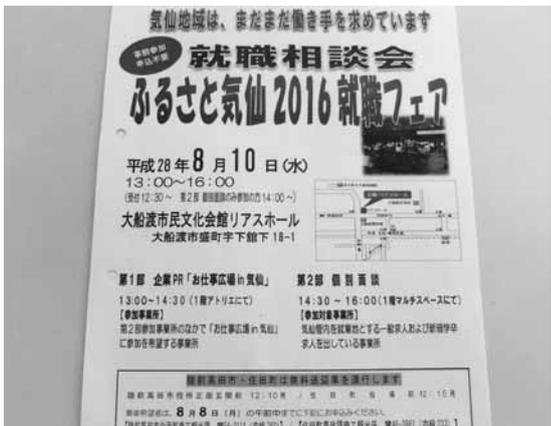
質問 災害対策について選挙戦に望むことは何か。

答弁 各政党に被災地の経験や教訓を生かせる国全体のシステム構築や首都直下型地震、南海トラフに対応できる建設的な議論を望む。

### 介護、保育、医療の地元雇用対策を

質問 一般的な就職説明会だけではなく、実際に就学している学生や、その家族に直接働きかけ等、新たな手立ても考えるべきではないか。

答弁 若い人の地元志向も強い。その本人及び家族にも



就職相談会の案内チラシ

介護、保育、医療の職場の働きがいや魅力、本市のまちづくりについて説明し働きかけを強めたい。

**質問** 保育職場では臨時職員が多い。卒業後地元に戻る場合、正職員として働けるようにすべきではないか。

**答弁** 本市の保育施設は公立と保育協会、さらに正職員と臨時職員があり、現実には格差がある。若い人も臨時職員ということでは地元に戻って来ないと思う。全体の一本化の中で正職員としての身分保障等、現実在即した検討が必要である。

## 市立図書館を 多くの市民に利用を

**質問** 図書館は静かな環境というイメージがあるが、身近で親しみやすい図書館にするため、どう考えているのか。

**答弁** 新中心市街地の核となり、周りの公園や商業施設からも図書館が見えるようになる。子どもから高齢者までくつろげる場所や交流人口の拡大にも寄与したい。



三井俊介  
(新風)

## まちづくりの協働を どう考える

**質問** 協働の必要性と効果についてどう考えるか。

**答弁** 行政では対応しにくい部分について、それぞれが得意とする分野での対応を担っていたくことを期待して



当市にある空き家を有効活用し、住民と外部の若者が交流している様子

いる。

**質問** 「協働に関する基本方針」の策定はどうか。

**答弁** 実効性のあるものを作りたいと思っている。NPO法人の方々との話し合いから方向性が見えれば、それを方針としたい。

## 魅力ある空き家バンク の創設にむけて

**質問** 空き家情報を収集し続ける仕組みはどうか。

**答弁** 地域の方が空き家の情報収集をしていると思うので、定期的に情報をいただけような方法を検討している。

**質問** 空き家バンク開設時の掲載物件の目標数はどうか。

**答弁** 目標を具体的に立てながら、情報を新しいものにできるだけ更新し、人口ビジョンを見据えて取り組んでいきたい。

いと考えている。

## 地域おこし 協力隊について

**質問** 「自伐型林業推進隊」の募集状況はどうか。

**答弁** 3名募集の中、3件の問い合わせがあり、応募の申し出に至っているのは1名の状況である。

**質問** 地域おこし協力隊終了後は地域に定住することが望ましいとされるがその工夫はどうか。

**答弁** 地域行事への参加、市内のNPO法人などとの人脈づくりを行っていただきながら、地域に馴染んでいくようにしたい。

**質問** 新しい事業を創り出していただくことを期待する上で、林業とは別の分野でのビジネスのプロに参画いただくという考えはどうか。

**答弁** この間、様々な方に関わっていただきながら進んでいる。一方で、地域おこし協力隊の本市での立ち位置が少し明確ではないことを懸念している。今後においてはビジネスになりやすいところの地域おこし協力隊の募集も考えていきたい。

## 内容の充実に向け研修

### 広報小委員会視察

広報小委員会は5月26日、宮城県柴田郡の川崎町議会を訪れ、本市議会広報誌のさらなる編集内容の充実を図ろうと行政視察を行いました。

同町議会は、これまでの町村議会広報全国コンクールで上位入賞するなど、内容が高く評価されています。

編集作業の特徴は、新たな広報誌を発行するための最初の編集会議で、前回発行した広報誌の検証から始める点です。会議では、町民からの反響や自らの反省点、改善点などを各議員が出し合い、次号の広報誌づくりに反映しているとのことでした。

編集を進めるに当たっては、町民に親しまれ、興味を持って読んでもらえる誌面づくりを基本としているとの説明を受け、大変参考となる視察となりました。



川崎町での視察



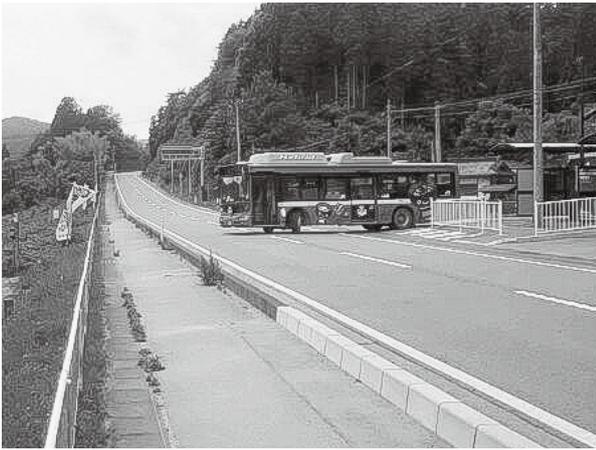
義 一 々木 佐  
(創 生 会)

## 今後の交通体系の

### 取組みについて

**質問** 高台移転により交通弱者が生活に不便を感じているがどうか。

**答弁** 公共施設や住宅地などを結ぶ市内循環型のコミュニティバスの導入を検討する。



列車の代わりに運行されているBRT

**質問** 盛岡へ乗換えなしで行けるバスルートの創設はどうか。

**答弁** 今後、岩手県と連携し、利便性向上の推進を図る。

**質問** 矢作・鹿折間の鉄路のBRT専用道化についてはどうか。

**答弁** JRより、トンネル内が狭く、安全上に不安があるため断念したと聞いている。

## 土地区画整理事業区

### について

**質問** かさ上げ部の換地の状況はどうか。

**答弁** 仮換地案の諮問を7月に高田地区、8月に今泉地区それぞれで行い、土地区画整理審議会の答申を受けた後に仮換地指定を行う。

**質問** かさ上げ部に生じる法面部分の管理はどうか。

**答弁** 今後、各管理者と協議し、管理の方策について検討する。

**質問** 今泉地区

の区画整理事業における歴史的要素への配慮についてはどうか。

**答弁** 大肝入屋敷や街道の復元など、地域特性や景観に配慮したまちづくりを進める。

## 今後の広域連携の

### あり方について

**質問** 少子高齢化、人口減少が進む中、公共施設の維持管理について、施設の復旧建設を広域で考えてはどうか。

**答弁** 公共施設の再建については、災害復旧を基本としている。今後、新たな施設整備については、関係自治体間で検討を行う。

**質問** 交流人口拡大のための広域連携についてはどうか。

**答弁** 県際観光推進研究会を立ち上げ、誘客の取組みを推進している。

**質問** 医療介護分野における広域での取組みについてはどうか。

**答弁** 気仙地区2市1町の行政、県立病院、民間診療所、歯科診療所および薬局で構成する一般社団法人未来かなえ機構が、ICTによる医療介護情報の共有化を進めている。

## 議案の審議・結果

〈第1回臨時会〉

平成28年第1回臨時会は、5月19日に議場で開れました。市長提出議案8件は、全会一致で同意・原案可決しました。

### ◆監査委員の選任

監査委員として、次の方の選任に同意しました。  
菅野 稔 議員(70歳)  
(気仙町)

| 提出議案及び審議結果 (平成28年第1回臨時会) 5月19日 |  |      |
|--------------------------------|--|------|
| 議案第1号                          | 平成27年度陸前高田市一般会計補正予算(第7号)の専決処分について                    | 承認   |
| 議案第2号                          | 平成27年度陸前高田市下水道事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分について               | 〃    |
| 議案第3号                          | 平成27年度陸前高田市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)の専決処分について              | 〃    |
| 議案第4号                          | 平成28年度陸前高田市一般会計補正予算(第1号)の専決処分について                    | 〃    |
| 議案第5号                          | 陸前高田市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分について                        | 〃    |
| 議案第6号                          | 陸前高田市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について | 〃    |
| 議案第7号                          | 陸前高田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について                    | 〃    |
| 議案第8号                          | 監査委員の選任について  | 同意   |
|                                | 陸前高田市及び大船渡市営林組合議会議員補欠選挙                              | 指名推選 |

# 議案の審議・結果 へ6月定例会

平成28年第2回定例会は、6月10日から22日までの13日間の会期で行い、復興関連の補正予算など議案22件と報告5件、発議案2件を原案通りに可決しました。

## ◆復興関連議案などを可決

開会初日は、報告5件と執行前提案9件を即決しました。具体的には、被災市街地復興整備事業の変更業務委託契約締結、広田公民館建設工事の請負契約締結(2億8350万円)などを原案可決しました。

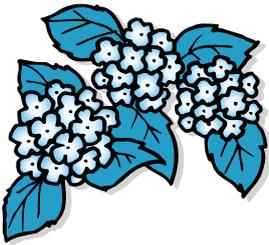
そのほか、執行前提案1件、条例案6件、平成27年度各種会計補正予算案5件が一括上程され、予算等特別委員会(福田利喜委員長)に付託しました。

特別委員会での慎重審議の結果、最終日に追加された脇之沢漁港(利用調整施設)災害復旧工事の請負契約締結(10億980万円)を含む計13議案を全会一致で原案可決しました。

このうち、平成28年度一般会計補正予算は、歳入歳出の総額に約13億8800万円を追加し、総額約703億5600万円

円としました。

主な歳出は、被災大型商業施設復興支援補助金(3000万円)、PRイベント開催・認定通訳ガイド育成・インバウンド誘致営業活動支援業務委託料等としての交流人口拡大事業費(2030万円)、高田松原公園運動施設再整備支援業務委託料や公有財産購入費としての都市施設災害復旧事業費(5211万円)、市立図書館建物等取得費(5億8011万円)、図書等購入費等(1億9753万円)などです。



## 提出議案及び審議結果 (平成28年第2回定例会)

|        |   |      |        |   |      |
|--------|---|------|--------|---|------|
| 報告第1号  | 損害賠償の額を定めることに関する専決処分の報告について                                     | 報告   | 議案第12号 | 陸前高田市子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例  | 原案可決 |
| 報告第2号  | 平成27年度陸前高田市一般会計繰越明許費繰越計算書                                       | "    | 議案第13号 | 陸前高田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例   | "    |
| 報告第3号  | 平成27年度陸前高田市国民健康保険特別会計繰越明許費繰越計算書                                 | "    | 議案第14号 | 陸前高田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | "    |
| 報告第4号  | 平成27年度陸前高田市一般会計事故繰越し繰越計算書                                       | "    | 議案第15号 | 陸前高田都市計画高田地区被災市街地復興土地地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例  | "    |
| 報告第5号  | 平成27年度陸前高田市水道事業会計予算繰越計算書  | "    | 議案第16号 | 陸前高田都市計画今泉地区被災市街地復興土地地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例  | "    |
| 議案第1号  | 市道路線の廃止について   | 原案可決 | 議案第17号 | 平成28年度陸前高田市一般会計補正予算(第2号)  | "    |
| 議案第2号  | 市道路線の変更について   | "    | 議案第18号 | 平成28年度陸前高田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)   | "    |
| 議案第3号  | 市道路線の認定について   | "    | 議案第19号 | 平成28年度陸前高田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)  | "    |
| 議案第4号  | 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について        | "    | 議案第20号 | 平成28年度陸前高田市介護保険特別会計補正予算(第1号)  | "    |
| 議案第5号  | 陸前高田市被災市街地復興整備事業の変更業務委託契約締結について                                 | "    | 議案第21号 | 平成28年度陸前高田市水道事業会計補正予算(第1号)  | "    |
| 議案第6号  | 陸前高田市広田公民館建設工事の請負契約締結について                                       | "    | 議案第22号 | 脇之沢漁港(利用調整施設)災害復旧工事の請負契約締結について  | "    |
| 議案第7号  | 陸前高田市立図書館整備事業の実施協定締結について  | "    |        |   |      |
| 議案第8号  | 財産の取得について   | "    |        |   |      |
| 議案第9号  | 財産の処分について   | "    |        |   |      |
| 議案第10号 | 損害賠償の額を定めることについて  | "    |        |   |      |
| 議案第11号 | 陸前高田市議会議員及び陸前高田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例 | "    |        |   |      |

## 請願審査

### —第2回定例会—

今回の定例会に提出された請願第2号から請願第5号は、委員会審査を経て本会議にはかられました。

請願第2号は、質疑・討論を行ったあと、採決の結果、賛成多数で採択となりました。請願第3号は全員の賛成で採択となりました。請願第4号は、質疑・討論を行ったあと、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。請願第5号は、討論を行ったあと、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

| 請 願  | 請 願 者  | 請 願 の 趣 旨  | 結 果 |
|--|--|--|-----|
| <b>【請願第2号】</b><br>若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求めることについて  | 盛岡市本町通2-1-36<br>浅沼ビル<br>全日本年金者組合岩手県本部<br>代表者 山田勝哉<br>陸前高田市米崎町字松峰59番地108<br>全日本年金者組合陸前高田支部<br>代表者 石山 仁雄 | 若者も高齢者も安心できる年金制度を実現するために、国会及び行政関係省庁に意見書を提出することを求めます。 | 採 択 |
| <b>【請願第3号】</b><br>無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書の議会決議について | 奈良県葛城市柿本166<br>無電柱化を推進する市区町村長の会<br>会長 山下 和弥<br>(奈良県葛城市長)   | 無電柱化の推進に関する法律案の早期成立のため、意見書を決議の上、政府関係機関に提出することを求めます。  | 採 択 |
| <b>【請願第4号】</b><br>区画整理事業の換地処分における参加条件の緩和について     | 陸前高田市高田町字西和野116番地1<br>菅野 明宏  | 区画整理事業の換地処分における高台の換地について、2年以内の限定条件の廃止を請願します。         | 不採択 |
| <b>【請願第5号】</b><br>防災集団移転促進事業における高台の早期完成について      | 陸前高田市高田町字西和野116番地1<br>菅野 明宏  | 高田町中田地区高台移転協議会が生活再建の場と予定されている高台6の早期完成を請願します。         | 不採択 |

なお、請願第2号の採決に当たっては、討論が行われました。要旨は次のとおりです。

| 賛 成 討 論  | 反 対 討 論  |
|--|--|
| ○伊勢 純 (日本共産党)<br>この請願は、若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求めるものです。<br>そのために、年金支給を2カ月ごとから月1回への改善や最低でも月5万円ほどが支給され、さらに加入年数で加算される「最低保証年金制度」の実現、また今後30年間、物価や賃金が上がっても支給額を減らす「マクロ経済スライド」の廃止などを求めています。<br>財源には消費税ではなく、大企業の税負担をせめて中小企業並みに増やすなどで9兆円を確保できることも重要です。 | ○畠山恵美子 (翔英会)<br>請願内容は、年金の現在受給者の立場のみを重視したものであり、若者に対する言及部分については、年金制度の論点ではなくて、問うべき本質は、雇用政策の将来ビジョンです。<br>年金の収支バランスを最優先した現行制度のなかでは、将来の受給世代となる今の若者の給付の底上げをいかに行うかという点と、マクロ経済スライドは年金の名目額の減少を回避するために、デフレ経済下では実施しない法制度になっている点こそを訴求すべきです。<br>本市議会としてのあるべき姿は、持続可能な社会保障のあり方を議論することです。 |

## 発議

### — 第 2 回定例会 —

今回の定例会に提出した発議第 3 号は、討論を行ったあと、賛成多数で原案可決しました。発議第 4 号は、全員の賛成で原案可決しました。

| 発 議  | 発 議 の 理 由 等  | 結 果  |
|--|--|------|
| 【発議第 3 号】<br>若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書の提出について | 安心できる年金制度の実現を求めるため、国の関係機関に対し、意見書を提出しようとして提案するもの。   | 原案可決 |
| 【発議第 4 号】<br>無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書の提出について      | 無電柱化の推進に関する法整備を求めるため、国の関係機関に対し、意見書を提出しようとして提案するもの。 | 原案可決 |

#### 【表決が分かれた案件】

| 議員名     | 請願第 2 号 | 請願第 4 号 | 請願第 5 号 | 発議第 3 号 |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| 三 井 俊 介 | ×       | ×       | ×       | ×       |
| 畠 山 恵美子 | ×       | ×       | ×       | ×       |
| 中 野 貴 徳 | ×       | ×       | ×       | ×       |
| 蒲 生 哲   | ○       | ×       | ×       | ○       |
| 丹 野 紀 雄 | ○       | ×       | ×       | ○       |
| 伊 勢 純   | ○       | ×       | ×       | ○       |
| 鵜 浦 昌 也 | ○       | ×       | ×       | ○       |
| 菅 野 定   | ○       | ×       | ×       | ○       |
| 佐々木 一 義 | ×       | ×       | ×       | ×       |
| 大 坂 俊   | ×       | ×       | ×       | ×       |
| 菅 原 悟   | ○       | ×       | ×       | ○       |
| 大 坪 涼 子 | ○       | ×       | ×       | ○       |
| 福 田 利 喜 | ×       | ○       | ○       | ×       |
| 藤 倉 泰 治 | ○       | ×       | ×       | ○       |
| 菅 野 稔   | ○       | ×       | ×       | ○       |
| 及 川 修一  | ○       | ×       | ×       | ○       |
| 伊 藤 明 彦 | 議       | 議       | 議       | 議       |

※ 「○」は賛成、「×」は反対、「議」は議長のため、採否に参加せず。



第 2 回定例会

## 議会を傍聴しませんか？

次の定例会は 9 月上旬に開会予定です。

また、災害 FM (80.5MHz) やインターネットラジオで、本会議・特別委員会を放送しています。

# 議会報告会を開催

議会基本条例に基づく議会報告会は、5月10日から17日まで、市内コミュニティごとの11会場と住田会場で開催しました。17議員が3班に分かれ、市民と事前に設定したテーマに沿って地域課題について懇談。延べ215人の参加者からさまざまな意見をいただきました。会場ごとの意見や提言を紹介します。

## 【1班】

### ○二又地区

- ・平根山に一時保管されている汚染牧草等について、早急に処理を行うとともに、新規の持ち込みを行わないで欲しい。
- ・伐期を迎えている分収林について、利益の残る伐採処分について対策をとって欲しい。



議会報告会（二又地区）

### ○長部地区

- ・旧矢作中学校の校舎の利活用について、地域医療の拠点として、また介護福祉の実習の場としての活用など地域づくりの観点から二又診療所とともに活用できないか。

### ○今泉地区

- ・気仙小学校校舎の今後の利活用については、市を交え地域でワークショップを重ね検討していることから、一方的な押し付けにならないようにして欲しい。
- ・高台移転等復旧復興工事によって、これまでと様々な状況が一変していることから、状況に即した対応をして欲しい。

### ○今泉地区

- ・区画整理事業及び防災集団移転事業について、一日も早い完成引き渡しと、気仙川に架かる橋の早期完成を

切に要望する。また、新たな住宅地整備に当たり、ゴミの収集場の計画的な整備と来客用の駐車スペースも検討して欲しい。

- ・災害FMなどの情報伝達方法について、新しい住宅は防音・気密性に優れていることから家の中でも聞こえる手段を検討して欲しい。
- ・気仙川堤防について、地盤沈下への対応を行って欲しい。

- ・市議会について、今泉のまちづくりは、ビジョンを持つて行うということを念頭に置いて議会活動及び議員活動を行って欲しい。

### ○広田地区

- ・高齢化が進み交通弱者が増えていることから、買い物や通院に使える公共交通対策をして欲しい。
- ・BRTについて、陸前高田から一関まで乗り換えをしないで行くことをJRに要望して欲しい。

- ・新たな道路は民家が少ないところを通るので、スクールバス等児童・生徒の通学の安全面への配慮をして欲しい。

- ・広田へも観光客が流入するような施策をとって欲しい。

## （1班担当者の所感）

また、黒崎展望台などの維持管理を行って欲しい。

分収林についての課題は、今泉地区でも出され、個々の分収林単位ではなく、まとめて伐採することにより、経費を低く抑える方法の検討なども話題になった。また、各地とも公設施設の利活用に関心が高かった。

## 【2班】

### ○住田町

- ・気仙町の高台5への移転で、土地を決めたら2年以内に家を建設する決まりがあるが、負担になっている。
- ・鳴部から矢作へ抜ける道路の交差点のカーブミラーが小さく見えにくい。
- ・バスなどの公共交通システムはどうか。暮らしやすさは担保されるのか。
- ・仮設住宅に住む人が減り、草刈りが大変である。支援してもらえないか。

- ・高台に移転する方は様々な不安を抱えている。それが「安全だ」と分かるように、市民に広く知らせて欲しい。

### ○小友地区

- ・自然とともに暮らしたいと思う若者が増えている。移



議会報告会（生出地区）

住者への金銭的な支援や住む場所の支援などはどうか。

- ・地域おこし協力隊などの制度の情報をしっかりと開示して欲しい。
- ・「たかたのゆめ」について、地域の飲食店への導入を支援できないか。また、新鮮な海産物を食べられる地域の飲食店を増やして欲しい。
- ・小友小学校は被災したが、復興交付金を使えないのはなぜか。請願には「子どもたちの命を守りたい」という思いが詰まっている。しっかりと受け止めて欲しい。

### ○高田地区

- ・高田地区の高台2・7のコミュニティをどう再生すべきと考えているか。
- ・新しい市役所についてはど

うか。方針を知りたい。市役所の位置について、市民から意見を聞き、懇談するような場を設けて欲しい。

・現在の高田小学校脇の道路が途中で計画にあるが、北への計画、特に道路幅の拡張についてはどうなのか。

・移転の売買契約をして、6カ月以内で家の解体をしなければならぬとあるが、負担になつてゐる。できれば新しい家を建設してからにして欲しい。

### ○生出地区

・一人で水道を引いて自立再建した方には300万円出るのか。生出地区の水道について、今年度中に方向性を示して欲しい。

・住民自身で水道を引いた場合には水質検査などを含め、地域で組織を設立し、管理しなければならぬと聞く。金銭的負担もさることながら、組織を運営していくことも高齢者が多い中で大変、どうにかならないか。

・生出の県道（世田米・矢作線、矢作・気仙沼線）を拡張して欲しい。

### 〈2班担当者の所感〉

各地区とも、出席人数が多いとは言えないが、懇談テ-

マについて地域の問題など、また、市内の公共施設の進捗よく状況を報告することにより復興事業への関心が高いことを感じた。市民と膝を交えた懇談ができたと思う。

### 【3班】

#### ○米崎地区

・浜田川の道路・河川の現況を調査し維持管理を進めて欲しい。

・防災集団移転跡地及び平地部の利活用をどのように考えるか。

・魅力的な市にするための将来展望を皆で考えたらよい。

・議員は、自ら動いて話を聞き危険箇所などを見て欲しい。

・三陸道下の排水溝に水が集まるが、さらに下の水路が未整備のため危険である。

・若い人の働く場所を確保するべきだ。

#### ○下矢作地区

・詠石橋を地区の意見を取り入れて早期に建設して欲しい。

・矢作小学校の狭隘な通学路の拡張整備を進めて欲しい。

・町内の市道の整備を進めて欲しい。

・土砂災害危険箇所要注意



議会報告会（米崎地区）

・板を設置して欲しい。

・鳴部道路のマンホールの浮き上がりを修復して欲しい。

#### ○横田地区

・横田保育園は建物の老朽化が激しく、子どもの安全の面からも早急に建て替えて欲しい。

・小学校空き校舎利用についての庁内部局の連携が図られていない。

・横田小学校空き校舎を留学生の学びの場として、が、交番もなく治安に対して不安がある。治安を確保して欲しい。

・高齢化社会にどのように対応しようとしているのか。

・町内の歩道段差が危険で、高齢者の歩行の障がいとなっている。

・用水路の堆積土砂の撤去や、

大雨の時のオーバーフローなど、気仙川の内水対策に留意して欲しい。

#### ○竹駒地区

・まちづくり、計画づくりへの多様な人材の参画。

・コミュニティバスをはじめとした、公共交通網の整備。

・被災低地部を集約すべき。

・竹駒の玉山金山など歴史資産をどのように活かすのか。

・一緒になつて、まちづくりに参加したい。その機会を作って欲しい。

・地域のブランド品を大事に育てて欲しい。

・医療関係に特化した市であってもよいのではないか。

### 〈3班担当者の所感〉

・震災遺構の気仙中学校は、残す必要があるのか。

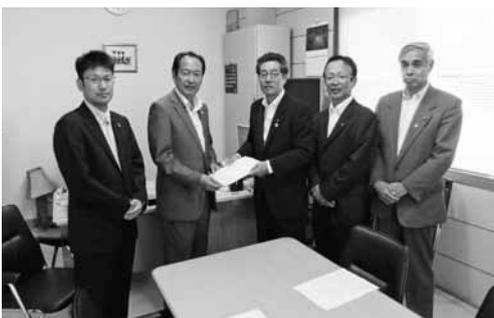
・大雨対策が必要などころがあり、各用水路の堆積土砂を除去して欲しい。

各地区で、ある程度の参加者があり、多くの意見聴取が出来たことは成果であったと考える。その中で、議会報告会のあり方についての意見もあり、今後のより一層の内容充実の可能性を感じた。

## 市民の意見まとめ市長に

議会報告会で寄せられた市民からの意見や提言は、議会広聴広報特別委員会（委員長・及川修一副議長）がとりまとめ、6月22日に伊藤明彦議長が「次年度予算に反映させるなど、十分に配慮した市政運営を」と、戸羽太市長に書面で報告しました。

市長からは今後、項目ごとに回答する姿勢を示していたいただきました。



市民の意見等を市長に申入れ

4月～6月

議会のうごき

平成28年4月以降の議会の主な活動状況を次のとおりお知らせします

<4月>

- 4日 広報小委員会
- 8日 広報小委員会
- 11日 市政調査会理事会／広聴小委員会／会派代表者会
- 14日 議会運営委員会／総務常任委員会
- 25日 全員協議会／議会広聴広報特別委員会／市政調査会総会

<5月>

- 10日 議会運営委員会／議会報告会(二又・住田・米崎)
- 11日 議会報告会(長部・小友・下矢作)
- 16日 議会運営委員会／議会報告会(広田・高田・横田)
- 17日 議会報告会(今泉・生出・竹駒)
- 19日 第1回臨時会／全員協議会／復興対策特別委員会理事会／総務常任委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会
- 26日 広報小委員会管外行政視察(宮城県川崎町)

<6月>

- 7日 議会運営委員会
- 10日 第2回定例会(～22日)／全員協議会／総務常任委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会／広聴小委員会／広報小委員会／ICT小委員会
- 14日 会派代表者会
- 15日 広聴小委員会
- 16日 予算等特別委員会／総務常任委員会／産業建設常任委員会
- 17日 予算等特別委員会／復興対策特別委員会／教育民生常任委員会／産業建設常任委員会
- 20日 復興対策特別委員会
- 22日 全員協議会／議会広聴広報特別委員会／広報小委員会
- 27～29日 教育民生常任委員会管外行政視察(石川県野々市市、輪島市)
- 30日 広報小委員会



平成28年7月20日第97号発行／陸前高田市議会(岩手県陸前高田市高田町字鳴石42の5) ☎0192(54)2111 印刷／(第)第一印刷

復興のうごき



工事が進む国道45号三陸沿岸道路(竹駒町相川)

国道45号三陸沿岸道路は、復興道路として緊急整備が実施されているところであり、このうち本市を通る唐桑高田道路は平成30年度の開通を目指し、急ピッチで工事が進められています。現在は、トンネル・橋梁等の工事のほか、盛り土などの改良工事が全面展開されています。

その中で、竹駒地区においては、区間最大の盛り土箇所である国道340号の函渠が完成し、4月に車道部、7月1日に歩道部の切り替えが完了したところです。

今後は、陸前高田ICの切り替えや、長部ICの造成が予定されています。南三陸国道事務所や工事関係者は引き続き、1日も早い開通を目指し、安全第一で工事を進めているとのこと。

暑中見舞い申し上げます



公職選挙法により、暑中見舞い等を送ることはできませんのでご理解願います。

陸前高田市議会議員一同

- ◆広報小委員会
- |    |     |    |    |    |    |
|----|-----|----|----|----|----|
| 同  | 同   | 同  | 同  | 同  | 同  |
| 菅野 | 伊勢野 | 中山 | 島山 | 鶴浦 | 菅野 |
|    |     |    | 貴恵 | 昌子 |    |
|    |     |    |    |    | 稔  |

編集委員

あしがき



(小委員長)

97回の発行となる今回の表紙の写真は、気仙町の仮設グラウンドで開催された「高田スマイルフェス2016」です。サッカーJ1・川崎フロンターレ(F)と本市との間に結ばれた友好協定「高田フロンターレスマイルシップ」に基づくイベントで、川崎Fの選手と子どもたちとの交流ゲームの様子を掲載させていただきました。また、今回は、政務活動費・議長交際費・広報小委員会の視察・臨時会と定例会の審議結果・請願審査・発議・議会報告会の内容を掲載。「復興のうごき」では国道45号三陸沿岸道路の整備の進捗よく状況を掲載させていただきました。

広報小委員会では100号記念誌発行に向けて掲載内容を鋭意検討し、市民の皆様が見たい、読みたい議会、たよりの作成を目指します。

皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。